



平成20年(2008年) 4/5 第1158号

発行：小平市 編集：企画政策部 秘書広報課 〒187-8701 小平市小川町二丁目 1333番地 ☎042(341)1211(代表)

市報 こだいら

納税には便利な口座振替を

市税の納付に口座振替を利用すると、窓口での手間が省け、たいへん便利です。平成20年度固定資産税・都市計画税(第1期)からの口座振替をご希望の方は、4月18日(金)までにお申し込みください。



※詳しくはお問い合わせください。 問合せ 収納課 ☎042(346)9526

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp



小川東町五丁目の新小平駅北自転車駐車場の北側に、花や緑に囲まれた地域の皆さんの憩いの場として、「虹ヶ丘みどり公園」が開園します。

虹ヶ丘みどり公園が開園

4月7日(月)の午後2時から開園式を行います。開園式後から利用できます。問合せ 水と緑と公園課 ☎042(346)9830

市民活動事業を支援します 市では、市内で活躍する市民活動団体が、みずから企画、実施する公益的な事業の提案を募集します。

募集要項・申込書の配布 4月7日(月)から5月9日(金)まで、問合せ先および小平元気村おがわ東管埋入室で配布

3 次世代育成を拡充する 地域での保育需要に応え、幼稚園と保育所を一体化した総合施設「認定こども園」への移行を促進してまいります。

5 都市基盤整備を推進する 多くの人が快適な都市生活を享受でき、さまざまな活動が繰り広げられるように、土地区画整理事業や市街地再開発事業を進めるとともに、都市計画道路や市道、公共下水道整備など、まちの基盤を整備していく事業を積極的・継続的に進めてまいります。

7 行財政を再構築する 自治基本条例づくりとして、引き続き市民による条例案の策定や、快適な住環境を維持するために緑の基本計画を見直し、用水路の親水整備など水や緑の環境整備を推進してまいります。

平成20年度予算決まる 予算総額828億2,330万円

〈予算概要は、4面をご覧ください〉

平成20年度予算について

小平市長 小林正則



私が市長に就任して早3年が経過しようとしております。就任以来、情報公開と市民参加を基本理念に掲げ、活気に満ちた都市こだいらの実現を目指して、既成概念にとらわれないことな、変化に柔軟に対応し、着実に進歩し続けているという気持ちで、市政運営に取り組んでまいりました。

1 市民のちからで進化する 自治基本条例づくりの推進として、引き続き市民による条例案づくりを支援し、また、市民の力を行政に反映していく内容として、男女平等条例や地区計画等提案型まちづくり条例の制定を視野に入れ、協議会や検討委員会での検討や、全員公募の市民委員会を立ち上げ、体育施設のあり方やスポーツ振興の仕組みについて議論してまいります。

2 教育・文化・スポーツを振興する 学校施設の耐震補強および改修をはじめとした施設整備、また、地域に開かれた学校づくりの推進として、コミュニティ・スクールの推進や小平地域教育サポート・ネットのさらなる充実を図るなど、教育環境の整備を計画的に進めてまいります。

4 健康福祉を充実する すべての世代の健康福祉の維持を進めるため、予防に重点を置き、妊産婦健康診査や新生児・妊産婦訪問指導を充実してまいります。また、平成20年度スタートの後期高齢者医療制度に合わせ、葬祭費や人間ドック利用費の補助など、市独自の事業を実施することにも、生活習慣病の予防として、特定健康診査や特定保健指導を実施してまいります。

6 安全・安心と快適環境を創出する 予測される地震災害などを最小限に食い止めるため、安全・安心のまちづくりの推進として、通学路に面した倒壊の恐れのあるブロック塀などに対する改修補助、民間木造住宅への耐震改修補助を新たに実施するほか、都市のライフラインである下水道施設の耐震化に向けた計画を策定してまいります。

例案づくりを支援し、形あるものにしてまいりたいと考えております。また、情報技術の積極的活用として、戸籍事務の電算化に着手するとともに、住民票などの交付を行う自動交付機を駅付近の公共施設へ設置し、市民サービスのさらなる向上に努めてまいります。

夜間納税窓口

4月25日(金)に開設

日中に市税の納付や納税相談ができない方のために、夜間窓口を開設しますので、ご利用ください。

とき 4月25日(金) 午後5時～8時

問合せ 収納課 ☎042(346)95227・95228

